

ホールにおける催事利用時の定員制限緩和（～100%）のための感染リスク軽減措置について

※本書については、利用申請日から1週間以内の間に必ずご提出ください。

期限内に提出いただけない場合は、定員制限の緩和を承認しないことがあります。

当団体が（施設・ホール名）において、利用定員の制限（2分の1以下）を超える来場者による催事を行うにあたり、以下に掲げる感染防止対策を確実にを行うことを誓約いたします。

1. 消毒の徹底

- 全スタッフ及び出演者の手洗い・手指消毒を徹底します。
- 来場者の手指消毒が確実にされるよう、受付等に消毒液を設置します。
（以上について必要となる消毒液は主催者側で用意します）
- 来場者の入れ替えがあるときには、座席のひじかけや背もたれなど、可能な限り消毒を行います。（施設が用意する消毒液を使用できます）
- 舞台上の備品（ただし、主催者側スタッフが動かせないものを除く。）の消毒は主催者側で行います。（施設が用意する消毒液を使用できます）

2. マスク着用の担保

- 全スタッフについてマスクの着用を徹底するとともに、来場者についても館内でのマスク着用の徹底を周知します。
- 出演者は舞台上であってもマスクを常時着用します。（ただし、演出上マスク着用が不可な場合は別途貴施設と協議のうえ、必要な対策を講じてマスクを外すこととします。）
- 催事の来場者でマスクを持参しない者がいた場合は、主催者側で用意したマスクを提供し着用を促すなど、マスクの着用を徹底します。

3. かぜ様症状等を有する者の入場制限

- 全スタッフ及び出演者について、発熱等かぜ様症状の有無を確認するとともに、症状がある者については出演・練習も含め入場を行いません。
- 全ての来場者について入場受付時に検温を実施し、体温が37.5℃以上ある者については入場をお断りします。（施設所有の体温検知カメラを1台使用できます）
- （有料催事の場合のみ）検温結果や有症状のため主催者が入場をお断りした者に対する入場料の払い戻し規定を設けます。

4. 参加者等の把握

- 催事の参加予約時または入場時に、来場者の氏名、住所及び連絡先電話番号を確実に把握します。（スタッフ及び出演者についても同様）
- 全ての来場者に対し接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを促すため、配布物（パンフレット等）にQRコードを印刷するなどして周知を行います。

5. 大声等（歓声、歌唱を含む。以下同じ）の抑止

来場者に対し、会場内で大声等を発しないこと及び歓談はできるだけ控えていただくことについて会場内アナウンス等により周知します。

スタッフを会場内に配置して、催事中に大声等を発する者がいた場合に個別に注意等の対応ができる体制を整えます。

（具体的な配置内容： _____）

6. 入退場時及び休憩時間中の密集の回避

入場時及び休憩時間中の密集を避けるために、開場時刻と開演時刻の間を1時間以上あけ休憩時間は余裕をもった時間とするとともに、ホワイエ等へのスタッフの配置や来場者の動線を確保する等により、来場者同士の距離を確保します。

上記の取組の実施が困難などにより来場者の密集が回避できない場合は、あらかじめ催事の入場定員数を削減するなど調整します。

（具体的な取組内容： _____）

退場時の密集を避けるために、席の位置に応じて分散しての退場を行います。

7. 出演者・観客間の接触防止

出演者が歌唱等を行う場合、座席の最前列は舞台前から十分な距離（少なくとも2m以上）を確保します。

舞台上についても、出演者同士の間隔を1m以上確保します。

出演者と来場者が催事前後や休憩時間等に接触することを確実に防ぐため、主催者として次の対策を講じます。

（具体的な対策内容： _____）

8. 催事前後の行動についての注意喚起

公共交通機関や飲食店での密集を回避するため、これらの利用にあたっては予約システム等を活用して分散利用するよう、全スタッフ、出演者及び来場者に対して促します。

（具体的な取組内容： _____）

9. その他

利用打ち合わせ時に施設スタッフから指示された事項は遵守します。

催事開催予定日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

催事名： _____

利用団体名： _____

（代表者名： _____）

来場者の検温対応マニュアル（発熱等有症状を確認した際の対応）

【事前準備】

- 非接触型体温計または体温検知カメラを会場受付に準備する。
- 発熱症状を確認した場合、一時待機してもらおうスペースを確保しておく。
（別室またはパーテーションでの仕切り空間の設置）
- 発熱症状を確認した場合の問診票（別紙）を準備する。
- 有料公演の場合、返金に対応するための現金を用意しておく。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のダウンロードを促すため、配布物（パンフレット等）にQRコードを印刷するなどして周知を行う。

【当日の流れ】

- 1 催事の来場者に対して、非接触型体温計または体温検知カメラで検温を実施
- 2 37.5℃以上の測定結果が出た来場者を別室（パーテーションでの仕切り空間）に誘導する。
- 3 5分間、クールダウンの時間をとり、その時間を利用して問診票に記入いただく。
- 4 問診の結果、1つでも該当する項目がある場合は、入場をお断りする。
- 5 問診票の項目のいずれにも該当しない場合は、5分後、再度、非接触型体温計（医療機器）により検温を行う。
37.5℃を下回った場合は入場していただく。
再測定の値も37.5℃以上である場合は、入場をお断りする。
- 6 （入場をお断りした来場者に対して）有料公演の場合には、チケットに氏名と連絡先が記入されていることを確認のうえ、チケットと引き換えに代金を返金する。
- 7 待機に使用した椅子等、当該来場者が触れた可能性のある場所を、アルコールで消毒する。

問 診 票

あなたの現在の体調（具体的な症状等の有無）について、該当するものに
チェックをしてください。

お名前： _____

具体的な症状等	該当するものに チェックしてください	
	「あり」 または「はい」	「なし」 または「いいえ」
咳(せき)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
喉(のど)の痛み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
鼻水や鼻づまり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
息苦しさ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
倦怠感(だるさ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
普段にはない体の強い痛み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
頭痛	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
下痢	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
味覚や嗅覚(におい)の異常	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自身がコロナウイルス感染者の 「濃厚接触者」である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
同居者に「濃厚接触者」がいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和 年 月 日

ご協力ありがとうございました。

当面11月末までのイベント開催制限の考え方について（概要）

【別紙1】

- **感染防止対策と経済社会活動の両立のため、新たな日常の構築**を図る。徹底した感染防止対策の下での安全なイベント開催を日常化していく。
- **イベントの収容率要件及び人数上限**については、イベントでの感染状況やシミュレーション等で得られた知見（適切な換気の下、マスクをして声を出さなければ、観客同士の感染リスクは低い。入退場やトイレ等の三密回避が重要等）を踏まえ、感染防止対策と目安のあり方について見直しを行う。
- 得られた知見等を踏まえた**業種別ガイドラインの見直しを前提に、必要な感染防止策が担保される場合**（別紙3「収容率及び人数上限の緩和を適用する場合の条件について」）には緩和することとし、**当面11月末まで**、以下の取扱いとする方針とする。
 - ① **収容率要件**については、感染リスクの少ないイベント（クラシック音楽コンサート等）については**100%以内**に緩和する。その他のイベント（ロックコンサート、スポーツイベント等）については**50%以内**（※）とする。
 - ② **人数上限**については、5,000人を超え、**収容人数の50%までを可**とする。
- 今後、一週間程度の周知・準備期間を考慮し、**9月19日より施行**する。
- 地域の感染状況等に応じ、都道府県知事の判断でより厳しい制限を課すことも可能である。また、大規模なイベント（参加者1,000人超）の主催者等は各都道府県に事前に相談し、各都道府県は感染状況やイベントの態様等に応じて、個別のイベント開催のあり方を適切に判断する。入退場や共有部、公共交通機関の三密回避が難しい場合、回避可能な人数に制限する。
- 全国的な感染拡大やイベントでのクラスターが発生した場合、政府は、感染状況を分析し、**業種別ガイドラインの見直しや収容率要件・人数上限の見直し等適切な対応**を行う。
- 12月以降のあり方については、感染状況、イベントの実施状況等を踏まえ、改めて検討を行う。

（※）異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ（5人以内に限る。）内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。

時期		収容率	人数上限
現在	屋内	50%以内	5,000人
	屋外	十分な間隔（*できれば2m）	5,000人

時期		収容率	人数上限
当面11月末まで	イベントの類型	大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの ・クラシック音楽コンサート、演劇等、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会 等	①収容人数10,000人超 ⇒収容人数の50% ②収容人数10,000人以下 ⇒5,000人 （注）収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度（両方の条件を満たす必要）。
		大声での歓声・声援等が想定されるもの ・ロック、ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブでのイベント →詳細は次頁参照	
		100%以内 （席がない場合は適切な間隔）	50%（※）以内 （席がない場合は十分な間隔）

各種イベントにおける大声での歓声・声援等がないことを前提としうる／想定されるものの例 【別紙2】

<p>大声での歓声・声援等がないことを前提としうるものの例</p>	<p>大声での歓声・声援等が想定されるものの例</p>
<p>音楽</p>	<p>音楽</p>
<p>クラシック音楽（交響曲、管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲 等）、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲等のコンサート</p>	<p>ロックコンサート、ポップコンサート 等</p>
<p>演劇等</p>	<p>スポーツイベント</p>
<p>現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等</p>	<p>サッカー、野球、大相撲 等</p>
<p>舞踊</p>	<p>公営競技</p>
<p>バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等</p>	<p>競馬、競輪、競艇、オートレース</p>
<p>伝統芸能</p>	<p>公演</p>
<p>雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞 等</p>	<p>キャラクターショー、親子会公演 等</p>
<p>芸能・演芸</p>	<p>ライブハウス・ナイトクラブ</p>
<p>講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等</p>	<p>ライブハウス・ナイトクラブにおける各種イベント</p>
<p>公演・式典</p>	<p>※遊園地（いわゆる絶叫系のアトラクション）についても同様の考え方を適用することとし、関係業界における感染拡大予防ガイドライン改訂を呼びかけ</p>
<p>各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等</p>	
<p>展示会</p>	
<p>各種展示会、商談会、各種ショー</p>	
<p>※映画館、美術館、博物館、動植物園、水族館、遊園地等についても同様の考え方を適用することとし、関係業界における感染拡大予防ガイドライン改訂を呼びかけ</p>	

(注) ・上記は例示であり、実際のイベントが上のいずれに該当するかについては、大声での歓声・声援等が想定されるか否かを個別具体的に判断する必要がある。
 ・イベント中（休憩時間やイベント前後を含む。以下同じ。）の食事については業種別ガイドラインで制限。また、イベント中の食事を伴うものについては、「大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの」として取り扱わない。

収容率及び人数上限の緩和を適用する場合の条件について

- 以下の措置のいずれもがイベント主催者及び施設管理者の双方において「業種別ガイドライン」により担保され、かつ、感染防止の取組が公表されている場合に、新たな目安（収容率及び人数上限の緩和）を適用することとし、それ以外の場合は、従来の目安を原則として、各都道府県が個別のイベント開催について適切に判断。

イベント開催制限の緩和に伴うリスクを軽減するための措置

- **消毒の徹底**（感染リスクの拡散防止）
- **マスク着用**の担保（感染リスクの拡散防止）
マスクを持参していない者がいた場合は**主催者側でマスクを配布し、着用率100%を担保**
- 参加者及び出演者の制限（感染リスクの拡散防止）
有症状者の出演・入場を確実に防止する措置の徹底（**検温の実施**、有症状の出演者は出演・練習を控えること、主催者が**払い戻しの措置等を規定しておくこと等**）
- 参加者の把握（感染リスクの拡散防止）
事前予約時又は入場時に**連絡先を確実に把握**することや、**接触確認アプリ（COCOA）**や**各地域の通知サービス**のダウンロード促進等の**具体的措置**を講じること（例：アプリのQRコードを入口に掲示すること等）
- 大声を出さないことの担保（大声の抑止）
大声を出す者がいた場合、**個別に注意、対応等ができるよう体制を整備**（人員を配置する等）
スポーツイベント等では、**ラッパ等の鳴り物を禁止**し、個別に注意、対応等ができるよう体制を整備
- 密集の回避（イベントの入退場や休憩時間における三密の抑止）
入退場列や休憩時間の密集を回避する措置（人員の配置、導線の確保等）や**十分な換気**
休憩時間中及びイベント前後の食事等での感染防止
入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、目安の人数上限等を下回る制限の実施
- 演者・観客間の接触・飛沫感染リスクの排除
演者・選手等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては開催を見合わせる
- **催物前後の行動管理**（交通機関、イベント後の打ち上げ等における三密の抑止）
公共交通機関・飲食店等での密集を回避するために、**交通機関・飲食店等の分散利用**を注意喚起、可能な限り、**予約システム等の活用により分散利用を促進**

※催物等における**クラスターの発生があった場合**、都道府県は、**目安及びガイドラインの遵守状況その他の実態を把握**するとともに、主催者に感染防止対策の徹底、催物等の無観客化、中止又は延期等の協力を求める。

感染防止のチェックリスト

(1) 徹底した感染防止等 (収容率100%で開催するための前提)

①	マスク着用の担保	・マスク着用状況が確認でき、個別に注意等ができるもの *マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布
②	大声を出さないことの担保	・大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができるもの *隣席の者との日常会話程度は可 (マスクの着用が前提) *演者が歌唱等を行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保 (最低2m)

(2) 基本的な感染防止等

③	①～②の奨励	・①～②は、イベントの性質に応じて可能な限り実行 (ガイドラインで定める)
④	手洗	・こまめな手洗の奨励
⑤	消毒	・主催者側による施設内のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒
⑥	換気	・法令を遵守した空調設備の設置、こまめな換気
⑦	密集の回避	・入退場時の密集回避 (時間差入退場等)、待合場所等の密集回避
⑧	飲食の制限	・飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限 ・休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底
⑨	参加者の制限	・入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置
⑩	参加者の把握	・可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握 ・接触確認アプリ (COCOA) や各地域の通知サービスの奨励
⑪	催物前後の行動管理	・イベント前後の感染防止の注意喚起

(3) イベント開催の共通の前提

⑪	入退場やエリア内の行動管理	・広域的なこと等により、入退場や区域内の行動管理ができないものは開催を慎重に検討 *来場者の区画を限定、管理した花火大会などは可
⑫	地域の感染状況に応じた対応	・大規模イベントは、事前に収容率制限等も含めて都道府県と相談 ・地域の感染状況の変化があった場合は柔軟に対応

(※) 本年7月17日付け事務連絡において、関係省庁を通じて上記対策を記載するよう業種別ガイドラインの改訂を依頼